講演要旨作成要領

表題はゴシック体16ポイントとし、2行以内で中央に書く。表題と氏名・所属との間は1行あける。

○安江　健・植竹勝治\*・山田明央\*\*（茨城大農・\*麻布大院獣医・\*\*九州農研セ）

氏名・所属はゴシック体12ポイントとし、２行以内で中央に書く。発表者に○印を付け、所属が異なる場合はアスタリスク\*または上付数字で区別する。氏名・所属と本文の間は1行あける。

本文の各セッションのタイトルはゴシック体10.5ポイントとする。本文は、読みやすくするため、できるだけスタイル（フォントの種類：明朝体、フォントサイズ：10.5ポイント、文字数と行数：45字×45行、2,000文字以内とする）を合わせ、A4用紙1枚に作成する。上余白2 cm、左右余白2 cm、下余白3 cmをあける。

目的　本実験は・・・することを目的とした。

目的と材料および方法の間は1行あける。

材料および方法　本実験は、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・で実施した。

材料および方法と結果および考察の間は1行あける。

結果および考察　各処理区における・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・を表1に示した。

図表を挿入する場合、1行あける。図表を挿入する場合、文字数をその分減らす。

表1．各処理区における・・・・・・（図表タイトルは、ゴシック体とする。）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 測定項目 | 対照区 | 処理Ａ区 | 処理Ｂ区　　 |
| 心拍数(回/分) |  |  |  |
| 呼吸数(回/分) |  |  |  |
| 直腸温(℃) |  |  |  |

注）処理Ａ区：・・・